

**令和2年度（2020）第3回出雲市障がい者施策推進協議会  
会議等開催結果報告書**

1. 会議名	令和2年度第3回出雲市障がい者施策推進協議会		
2. 開催日時	令和2年(2020)11月11日（水）14:00～15:30		
3. 開催場所	出雲市役所本庁6階 全員協議会室		
4. 出席者	<p>&lt;委員&gt;</p> <p>浅津昇委員、芦矢京子委員、石飛丈和委員、石橋美恵子委員（代理：飯塚万佐史氏）、和泉積委員、井上明夫委員、大野美和委員、尾添純子委員、</p> <p>兒玉浩二委員（代理：吾郷尚志氏）、佐貫文紀委員、塩飽邦憲委員、新宮直行委員、新藤優子委員、須谷生男委員、高見聡子委員、永岡秀之委員、柳楽紀美子委員、西嘉直委員、福島美菜子委員、藤川祐介委員、本常徹委員、山本順久委員、</p> <p>吉田通隆委員（23名）（50音順）</p> <p>欠席：原広治委員、山岡尚委員（2名）</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>岡健康福祉部長、小村福祉推進課長、松井福祉推進課主査 ほか</p>		
5. 会議等において検討された事項等	<p>1 開会</p> <p>2 岡健康福祉部長あいさつ</p> <p>3 会長あいさつ</p> <p>4 報告</p> <p>（1）専門部会の見直しについて</p> <p>5 議事</p> <p>（1）「第2次出雲市障がい者計画」、「第6期出雲市障がい福祉計画」、「第2期出雲市障がい児福祉計画」の素案 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料3</span></p> <p>① 成果目標等について</p> <p>② 前回からの変更点、意見の反映について</p> <p>6 その他</p> <p>（1）今後の協議会日程</p> <p style="padding-left: 40px;">第4回 令和3年 2月 3日（水）14:00～16:00</p> <p>7 閉会</p>		
6. 担当部署	健康福祉部福祉推進課	連絡先	TEL 0853-21-6959 FAX0853-21-6598
7. 会議録	別添のとおり		

令和2年度（2020）第3回出雲市障がい者施策推進協議会会議録（要旨）

1. 開会	本協議会を公開で開催
2. 健康福祉部長 あいさつ	省略
3. 会長あいさつ	省略
4. 報 告	（専門部会の見直しについて）事務局報告
会長	<p>この専門部会とネットワーク会議は出雲市で特徴のある協議会のもとでの会議で、関係者、それから市の方も参加していただきながら、それぞれ課題について、煮詰めて、そしてこの協議会に提案をしていただくような役割を果たしていただいている。同時に、質の担保という面で、関係者の研修の機会にもなっているという会議である。</p> <p>今回、そのそうだん専門部会、それから2つのネットワーク会議、トータル3つのネットワーク会議にするということでのご提案である。何かご質問があるか。よろしいか。</p>
各委員	（意見なし）
会長	これで承認とさせていただきます。つづいて議事に入らせていただきます。
5. 議 事	第2次出雲市障がい者計画及び第6期出雲市障がい福祉計画、第2期出雲市障がい児福祉計画の素案について、まず、①の成果目標等について事務局から、ご説明をお願いしたい
事務局	事務局説明
会長	<p>国の方から、成果指標を具体的に求められているということと、資料1の裏面は年度ごとに立てないといけないところを、まとめて立てていたので、年度ごとに振った。</p> <p>それから、発達障がい者については、今のところを十分把握できてないという側面と、ご家族、親御さんがピアサポートを求められてるので、今後その辺の取組を強化していく必要がある。ただ、現状では数字が把握できていないので、今計画では具体的な数字は入れないということにさせていただきますということだった。</p> <p>前回は資料1の人数については、いろいろご議論もいただいたが、県で実施した調査からより正確な人数が分かったので、それに基づいて目標人数を入れているということである。</p> <p>実績に基づいて国の方でこういう割合でというのが示されているので、それに大体沿った形で数字は入れているということである。</p> <p>全体をまとめる立場でしか人数はなかなか把握できないと思う。</p> <p>ご質問・ご意見はあるか。</p>

A委員	41ページの一番下の就労定着支援事業所の数だが、5事業所となっている。いつの時点の数字か。
事務局	今年度現在、5事業所と把握している。
A委員	県のホームページで見たら、今年の7月に1ヶ所休止となっていて、11月1日現在では4事業所。そうすると（目標値は）多分3事業所になると思う。
事務局	確認する。
会長	他にいかがか。
B委員	<p>今回就労関係の数字を直していただいた。前回定義が曖昧だったり、積み上げ方式なのか、単年度か分からず質問した。</p> <p>今回丁寧に見ていただき、数字の定義等がはっきりしたと思うのでよろしいかと思う。</p> <p>就労定着支援事業はA委員からも質問があったが、新しい事業で、就労した障がいのある方に対して、3年間は福祉事業所と一緒に支援していくもの。</p> <p>3年間で積み上げて55名という定義、国の言っている数字をそのまま、確かに3事業所ないし4事業所でこの55人を見ることは大変だが、一応目標として頑張っていけないといけないと思う。</p> <p>就労定着支援の細かいことがこの55ページに記載されている。第6期計画のところから令和3年から令和5年まで18名、18名、19名となっているが、この3年間見るわけで、足していって55人という意味だと思う。</p> <p>この表は、定着支援だけ見方が違って難しいが、年間利用者数が、令和3年18で令和4年18、令和5年19となっているが、たぶんこれは、その年度に新規に利用が始まる人が18名と私には見える。</p> <p>もしそうであればこの年間利用者数は、この就労定着支援に限れば、年間に新規に発生する利用者数ですという言い方が分かりやすいと思うので質問させていただく。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>55ページの数字についていかがか。</p>
事務局	この数値については各年度ごとに割合を掛けて計算したもので、新規の数になる。
会長	それでよろしいか。
B委員	<p>はい。</p> <p>新規の数と書いた方がより分かりやすいと思うので、よろしくお願ひします。</p>
事務局	はい。記載の仕方を確認して追加をしたい。
会長	他にいかがか。よろしいか。

	<p>また何かあれば、さかのぼってでもいいのでご意見いただきたい。          続いて前回からの変更点、前回以降の委員からのご意見の反映の状況について、ご説明いただきたい。</p>
事務局	事務局説明
会長	<p>資料1は、国や県から求められている数値の話だった。          資料2は、皆さんからのご意見を、文言整理など修正をし、それぞれ説明をいただいた。          貴重なご意見をいただいている。追加でのご発言、質問あるか。</p>
C委員	<p>32ページの、インフォーマルな関係のこと。          昨日もこちらの森で話し合ったが、ピアサポーターを募集している。ピアサポーターは現在3人しか活動しておらず、担い手がなくて困っている。どうかピアサポーターを増やすために協力してほしい。</p>
会長	<p>そういった取組が非常に大事だと思うが、インフォーマルな関係は通常使われている内容と違う。事務局と相談しながら、問題整理をしたいと思う。          発言いただいたことも含め、エンパワーメントとピアサポートについて、強化し、追加できる場所があったら追加したい。          他いかがか。</p>
D委員	<p>資料2の2番目の問題で、16ページ。          発達障がい者の数を今回は入れていない。今期はもう難しいと思うが、ぜひ人数を調べて入れていただきたい。          発達障がいの方が増えているのは、発達障がいと不登校の問題が絡んでいることが多いと聞きながら、人数が分からないでは説得力ない。教育の方で分かるのでは。          発達障がい者はなかなか把握が難しいと思うが、児の方は、診断を受けられた方もたくさんいる。クラスに1割はいると聞いた。分かるようになると、対策も考えていただけるのかなと思う。          先日、発達障がいでも知的には問題のない方で、情緒の方で非常に大変困ったとお母さんの話を聞いた。知的に問題がないと、特別支援学校にも行けないし、特別支援学級でも対応してもらえない、学校に行けなくて本当に困っていると。          学校に行っても対応策を示してもらえなく、子どもが先生に恫喝みたいにされて学校に行けなくなって、それ以来不登校になったということを知った。いくら言っても誰も何も聞いてくれないとの話を聞いて、すごい困ったことだと思った。          実際このように、掴みきれない数があり、皆さんも対応しきれないと思うので、きちんと数が分かる範囲でいいのできちんと調べ、大事な子どもさんを育てていくため教育を受けさせてあげたいと感じた。          今後の希望として、数をきちんと調べて反映してほしい。</p>
会長	このことについて、E委員のお考えはどうか。

E 委員	<p>正式な数字はなかなか出てこないと思う。</p> <p>出てくる可能性があるとするれば、精神障がい者の保健福祉手帳に発達障がいも対象にはなるが、実際(診断書を書いている者として、発達障がいは背景にあって前面に出ているうつ病で書いたりする。通りやすい診断書を作成したりするのでなかなか難しいと思っている。これは一般的な全国値の推計を当てはめて、出雲市ではどれぐらいというような推計値でしか表現ができないのではないかなと個人的には思う。</p> <p>非常に大事な要素だと思うが、およそどのくらいの方が障がいがあって、お困りなのかは大事なこと。ただその推計の出し方がいろいろとあるので、根拠をどこにもっていくかが非常に重要だと思う。</p>
会長	<p>他に教育側の皆さんで何かあるか。</p> <p>障がい者手帳にぴったり当てはまるというわけではないので、そういう側面からは数が掴めず、学校等でいろいろ課題がある割合等について今議論されているが、地方レベルで数をつかむのは難しい。いかがか。</p>
F 委員	<p>発達障がいの診断を受けた子どもたちの数は、なかなか把握ができない。県教委の方で、何らかの特別な支援が必要だと思われる児童生徒の教員の主観による調査は、ホームページ等で公開されている。診断ではないが、そういったものを活用する方法はあるかとは思う。</p>
会長	<p>教育、文部科学省系は数が出ないと思うが、今回は無理にしても次回なり、年度途中から加味できれば、課題の大きさを示す一つの指標でもあるので、ご検討いただきたいと思う。</p> <p>他はいかがか。</p>
G 委員	<p>70ページの移動支援等と74ページの日中一時支援事業というのは、児と者の両方が利用されていると思う。</p> <p>日中一時支援の子どもの割合等を書いて、移動支援については、幼児の対応も対象と書いてあり、利用が下回ったと修正があるので、子どもの利用の割合があった方がよい。せっきく障がい児の計画も作っているのを書いてほしい。</p> <p>今後の数が、者と児が合体してるものではなく、分けた実績報告ができるよう3期の計画から統計をとっていただくと、児の計画が充実すると思うのでお願いします。</p>
会長	<p>この点についてはどうですか事務局の方。</p>
事務局	<p>この移動支援については地域生活支援事業ということで、ひとくくりで今回行った。それが可能かどうかも含めて今後検討したいと思う。</p>
会長	<p>他はいかがか。</p>
H 委員	<p>先ほど発達障がい者の人数実績ということで、発達障がい者支援センターに関わられた方のうち、診断名がついてる人数は把握はしている。</p> <p>毎年、国・県に報告をしている。ただ出雲市全体になると、全部把握できてないというのが現状。</p>

	<p>それと44ページの発達障がい者等支援の一層の充実のところに、赤字で訂正を加えられた。この表記の意味を確認したくて質問する。</p> <p>「発達障がい者等に対して適切な対応を行うため関係機関と連携して、発達障がい者等の家族等に対するペアレントプログラムやペアレントトレーニングの、支援体制の充実を図ります」ということで、この発達障がい者「等」というのは、発達障がい者の他に発達障がい児ということか、それとも他の障がいのある難病とか高次脳機能障がいを含む表現か。</p>
会長	44ページの2つ目のポツのところで、「等」が何を含まかということですか。
事務局	申し訳ないが、これはそのまま国の指針を使っている。手元に資料はないが、確認はできると思うので、またお答えできればと思う。
会長	よろしく申し上げます。他はいかがか。
E委員	今で言えば43ページの(4)発達障がい者等支援の見出しそのものも「等」が入っているので含めて確認してほしい。
事務局	失礼しました。 43ページのところ発達障がい者や高次脳機能障がい者、難病患者というところに入っている。
会長	44ページの等についても同じということか。
事務局	はい。
会長	よろしいか。
E委員	はい。
会長	他はどうでしょう。
I委員	あまりその高次脳機能障がいではペアレントプログラムとかペアレントトレーニングはこの「等」に入っていない。あまり聞かない。発達障がい児ということであれば対象だが。なのでこの「等」は違うと思う。
A委員	私が思うに発達障がい者等は発達障がい疑われる方ということで、「等」がついてると思う。あくまで私見だが。
会長	資料1の裏面に、発達障がい者等に関する支援で、1つはペアレントトレーニング、ペアレントプログラムとペアレントメンターと合わせて、ピアサポートの活動も入っている。このピアサポートは3つの障がいに関わる場所。前2つのペアレントは発達障がい児なので、区別つくように記載をお願いしたい。よろしいか。

I 委員	<p>高次脳についてもピアサポート事業を、本年度は国の方から全体的に調べる調査で、立ち上げようとしている。ぜひ記入をお願いしたい。</p>
会長	<p>最初に質問いただいた、精神の方と合わせて、その辺はしっかり書き込む必要がある。</p>
E 委員	<p>資料2の14番だが、これは私が前回欠席をしたので文書で意見を申しあげて採用していただいた。その中で2点、審査委員だけではなく認定調査員の研修もある。認定調査員にもぜひ定期的な研修を受けていただきたいので追加記載をお願いしたい。</p> <p>市役所職員の事務局については、後のところで記載があったので結構だが、できれば認定調査員が可能であれば、市独自で研修会をするというぐらいの気概を持ってほしい。これは要望。</p> <p>もう1点だが、資料2の15番目の医療的ケア児で少し気がついたことがある。保護者のなかには、最初から全部まだ出して欲しくないと思っている方が若干いる。「個人情報の保護に十分配慮したうえで」といった記載があってもいい。この個人情報の保護に関して言えばこの計画全体の前段あたりで、すいません全部読んでないが書いてあったら大変失礼なことを申しあげているが、個人情報に十分配慮したうえで計画を進めるという形の記載がどこかにあったほうがよい。提案をさせていただく。</p>
会長	<p>2つのご質問について事務局の方いかがか。</p>
事務局	<p>E委員の指摘だが、追記という形で書き込みをさせていただきたいと思う。調査員の研修、それから、医療的ケア児を含め障がいのある方々の個人情報の保護の記載を考えている。</p>
会長	<p>医療的ケア児だけではなく、サービスを行うにあたって基本的なところで当然だが、書き込んだ方がいいと思う。全般的なところで、2番目の方は対応いただきたい。他、いかがか。</p>
J 委員	<p>67ページだが②成年後見制度法人後見支援事業で、流れとして前のページの成年後見制度利用支援事業があって、法人後見の支援事業と繋がっているが、1行目のところで個人後見ではということから、個人後見では後見業務の負担が大きい場合などあり、そのため法人後見があるんだという流れになっている。</p> <p>おそらく個人後見も頑張っている方もたくさんおられる。そうであれば、個人後見のほかにも、法人後見という選択肢があると内容に特記した方が、読みやすくなるし、趣旨をとらえやすくなるのではないかと提案です。</p>
会長	<p>一応そういう方向でお願いします。他はいかがか。</p>
F 委員	<p>質問させていただきたい。33ページの一人ひとりのニーズに応じた教育の充実の施策の方向の2つ目だが、通級指導教室に関する専門職、この専門職は、出雲市の方で独自に配置するというイメージか。</p>

K委員	ここで言う専門職は出雲市の教育委員会の事務局にいる、通級指導教室の支援員を指している。
会長	その他、いかがか。 現時点で、なかなか読み込みは難しいかと思うが、よろしいか。 出雲版の地域生活支援拠点の愛称もよろしいか。その拠点はソフトなので、拠点という言葉を使うよりもサポートという愛称にしたほうがいいとご提案いただいた。よろしいか。
各委員	(意見なし)
会長	現時点でなければ少しご意見をいただく期間を設けたいが、事務局の方で部長からも話をいただいているが、今後の計画案の取りまとめの方、タイムスケジュールと、皆さんからの意見をいただく期限についてご提案をいただきたい。
事務局	今後のスケジュールについてご説明申しあげる。本日、たくさんのご意見を頂戴した。計画案をごらんいただき、ご意見があれば11月20日までにいただきたいと考えている。それをもって、こちらで修正し、会長にご相談、ご確認をいただくという方法を取らせていただきたいと思うが、委員の皆様いかがか。
会長	概要を(議会に)ご報告し、それからパブコメになるので、日程について、11月中に成案を作るため20日までに意見をいただきたい。意見を事務局の方で整理し、私も目を通して、大きな問題がなければその段階で案とする。よろしいか。
各委員	(意見なし)
会長	20日までにぜひお気づきの点あれば、それぞれのお立場で、文書も含めて意見をいただきたい。 それでは全体通して何か意見等あるか。
D委員	発電機について記載があるが、市の方で管理しているのは、県のを市が管理してるのか、市で購入されたのか、どちらか。
事務局	これは出雲保健所から借り受けてる状態。県の要綱に従い、市で管理している状況。
D委員	何かあった時には、市に連絡して市から持ってきていただくような形か。
事務局	この要綱に基づき災害時に出雲保健所または出雲市役所に連絡をいただきその後、発電機をお渡しする。 市のホームページでも周知しているので、ご確認いただければと思う。
会長	他にあるか。

B 委員	<p>パブリックコメントについて、委員の皆様方等の意見は非常にたくさんあって、関係者とか施設の者や学校関係者、行政の意見を随分この計画に取り入れてあるが、やはり一番大事なのは、当事者の皆さんの意見、視点というのが、こういう計画には絶対ないといけないと常々思っている。</p> <p>その点も大体できあがったものでパブリックコメントするが、やはり市民の障がい者団体の皆さんの意見をぜひ取り入れていただきたいと思うので、パブリックコメントについては、なるべくいろんな手法を使って、多くの、障がいのある当事者の方の意見を求めていただくようお願いしたい。</p>
会長	<p>いろんなチャンネルで、そういった意見を求めるように事務局の方お願いしたい。よろしいか。</p> <p>それでは全体の議事はここまで、事務局の方にお返ししたいと思う。</p>
事務局	<p>会長ありがとうございました。</p> <p>皆様方大変ありがとうございました。</p> <p>今後12月議会において、文教厚生委員会でこの計画の概要を説明し、その後パブリックコメントを、今予定としているのが12月11日から1月12日まで。この間に先ほどご意見いただいたように、あらゆるチャンネルを使って検討していきたいと考えている。</p> <p>次回の協議会は来年の2月3日を予定している。委員の皆様には予定の方お願いしたい。それから11月20日までのところで、何か意見があればいただきたい。</p> <p>それでは本日は議事及び報告事項についてご審議をいただき誠にありがとうございました。</p> <p>貴重なご意見いただき、なるべく計画に追記、検討したいと考えている。</p> <p>以上をもって閉会とします。</p> <p>皆様どうもありがとうございました。</p>